

令和 6 年度  
日本レクリエーション協会公認指導者養成  
課程認定校研究連絡会議

# 全国研究集会 報告書

公認指導者養成課程認定校研究連絡会議

# ご挨拶

---



公認指導者養成課程認定校研究連絡会議  
幹事長 / 徳島文理大学  
岡山 千賀子

9月に行われた「第78回全国レクリエーション大会とちぎ」大会において、課程認定校の皆様と幹事会や研究フォーラム、各種体験など充実した時間を過ごすことができました。特に研究フォーラムセッション5では、13件の教育実践・研究発表があり、先生方のレクリエーション教育に対する熱心な取り組みを拝聴することができました。保育・教育・福祉の現場での実践や、競技種目・遊び・音楽など多岐にわたる研究発表は、これからの課程認定校での教育に大変役立つものばかりでした。進行の沖先生、永富先生、総括の築山先生、発表された先生方、大変お疲れ様でした。

セッション6では「レクリエーション教育・研究サポートデスク」と題して、新潟医療福祉大学の左近先生をコーディネーターとして、仙台大学の仲野先生・大阪電気通信大学の中井先生と共にワークショップ形式で、レクリエーション教育・研究・社会貢献に関する情報交換・議論を行いました。フロアの先生方から多くの意見を頂戴しながら、先生方の教育に役立つ情報を少しでもお伝えしようと頑張りました。私たちの思いは伝わったでしょうか？

情報交換会では、日レクの皆さんと共に全国の先生方と楽しく有意義な時間を過ごすことができました。各地でレクリエーション教育を頑張っている先生方と色々なお話ができて本当に楽しいひとときでした。課程認定校の数は残念ながら少しずつ減少していますが、これからも多くの先生方とお会いして心を元気にして、レクリエーションを楽しんでいる学生の為にこれからも共に頑張っていきましょう。

是非、来年も愛知県で皆様とお会いして、学びを深めるとともに楽しく語り合う時間を持ちたいと思っています。

# 実施要項

---

## 主催

公認指導者養成課程認定校研究連絡会議  
公益財団法人 日本レクリエーション協会

## 開催日時

2024 年 9 月 7 日（土）  
13 時～15 時 30 分

## 会場

ライトキューブ宇都宮 201 教室

## 出席者

51 名

## タイムスケジュール

13：00 開会挨拶

岡山 千賀子 氏

（課程認定校研究連絡会議 幹事長／徳島文理大学）

13：05 レクリエーション教育実践・研究発表

進行：沖 雅美 氏

（課程認定校研究連絡会議 関東・甲信越ブロック幹事／東京福祉保育専門学校）

永富 達也 氏

（課程認定校研究連絡会議 九州・沖縄ブロック幹事／九州龍谷短期大学）

発表者・演題：後述記載

15：25 閉会挨拶

築山 泰典 氏

（課程認定校研究連絡会議 監事／福岡大学）

15：30 閉会

## レクリエーション教育実践・研究発表

| 演題                                                                               | 発表者(敬称略)                                                        |
|----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|
| レクリエーション・スポーツの運動強度                                                               | 大橋 信行<br>(帝京大学)                                                 |
| 大学体育においてレクリエーション・スポーツ種目を実施する価値<br>—社会人基礎力の変容に着目しての検討—                            | 古田 康生<br>(岐阜協立大学)<br>※当日は共同研究者の日比<br>千穂氏(大垣女子短期大学)<br>が発表されました。 |
| ラダーゲッターの投げ方の支援方法<br>:ラダーを近くすると掛かりやすくなるのか                                         | 中井 聖<br>(大阪電気通信大学)                                              |
| 保育学生からみたレクリエーションの学習ニーズに関する研究<br>—保育学生用レクリエーションスキル尺度の試作を通して—                      | 霜触 智紀<br>(宇都宮共和大学)                                              |
| 健康体操教室に参加する男性高齢者で行うレクリエーション活動の研究<br>男性高齢者の視点での男性高齢者の参加者を促進するためのレクリエーション活動の検<br>討 | 本多 理紗<br>(札幌国際大学)                                               |
| 子どもの忍者運動遊び関連 ICT 活用ゲーム・プログラムの開発<br>—壁面プロジェクションとエアータッチセンサーのコラボレーション—              | 小野 隆<br>(名古屋柳城女子大学)                                             |
| カリキュラムと連動させた地域高齢者事業が学生にもたらす効果                                                    | 仁藤 喜久子<br>(仙台白百合女子大学)                                           |
| レクリエーションダンスイベントに参加する<br>中高年参加者の特性について                                            | 森田 清美<br>(東北文化学園大学)                                             |
| 通所介護事業所の個別支援計画における余暇支援の現状                                                        | 南條 正人<br>(仙台大学)                                                 |
| VR の可能性<br>～スポーツ未実施者を対象とした VR コンテンツ制作の試み～                                        | 山本 存<br>(甲南女子大学)                                                |
| 地域高齢者における余暇活動の楽しさの要因に関する探索的研究<br>～継続的な趣味活動のインタビュー調査から～                           | 三宅 基子<br>(京都先端科学大学)                                             |
| 保育者の幼児の四肢運動と保育に関するみとりの熟達による差                                                     | 佐近 慎平<br>(新潟医療福祉大学)                                             |
| 共同的な音楽活動を想定したピアノ演奏変化                                                             | 小林 梨紗<br>(聖徳大学)                                                 |

# 発表資料

## レクリエーション・スポーツの運動強度



【発表者】  
大橋 信行 氏(帝京大学)

[PDF ファイル](#)

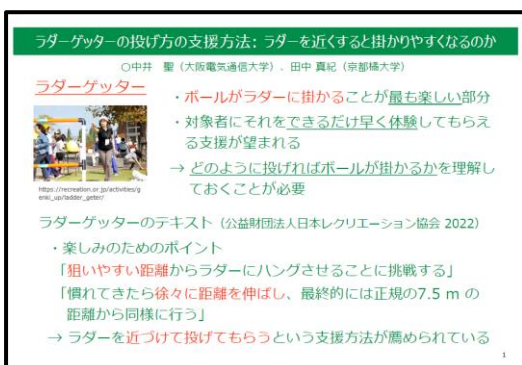
## 大学体育においてレクリエーション・スポーツ種目を実施する価値 —社会人基礎力の変容に着目しての検討—



【発表者】  
古田 康生 氏(岐阜協立大学)  
※当日は共同研究者の日比千穂氏(大垣女子短期大学)が発表  
されました。

[PDF ファイル](#)

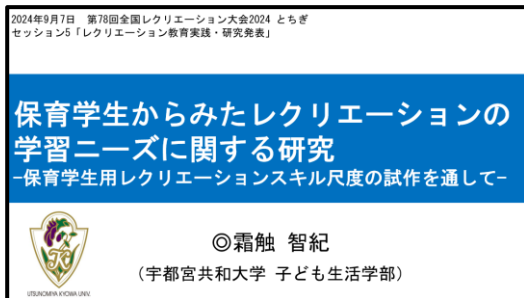
## ラダーゲッターの投げ方の支援方法:ラダーを近くすると掛かりやすくなるのか



【発表者】  
中井 聖 氏(大阪電気通信大学)

[PDF ファイル](#)

## 保育学生からみたレクリエーションの学習ニーズに関する研究 —保育学生用レクリエーションスキル尺度の試作を通して—



### 【発表者】

霜触 智紀 氏(宇都宮共和大学)

[PDF ファイル](#)

## 健康体操教室に参加する男性高齢者で行うレクリエーション活動の研究 男性高齢者の視点での男性高齢者の参加者を促進するためのレクリエーション活動の検討



### 【発表者】

本多 理紗 氏(札幌国際大学)

[PDF ファイル](#)

## 子どもの忍者運動遊び関連 ICT 活用ゲーム・プログラムの開発 —壁面プロジェクションとエアータッチセンサーのコラボレーション—



### 【発表者】

小野 隆 氏(名古屋柳城女子大学)

[PDF ファイル](#)

## カリキュラムと運動させた地域高齢者事業が学生にもたらす効果

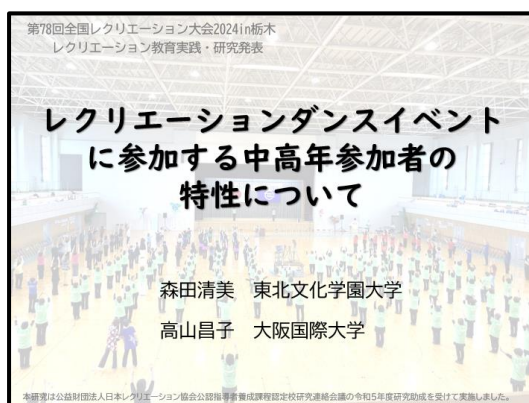


### 【発表者】

仁藤 喜久子 氏(仙台白百合女子大学)

[PDF ファイル](#)

## レクリエーションダンスイベントに参加する中高年参加者の特性について

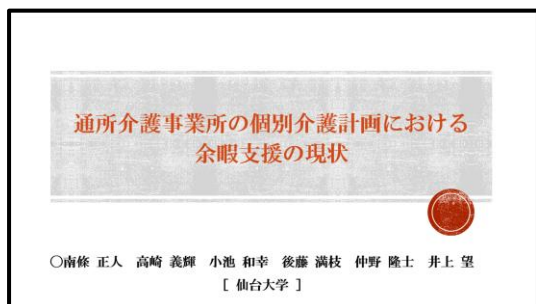


### 【発表者】

森田 清美 氏(東北文化学園大学)

[PDF ファイル](#)

## 通所介護事業所の個別支援計画における余暇支援の現状

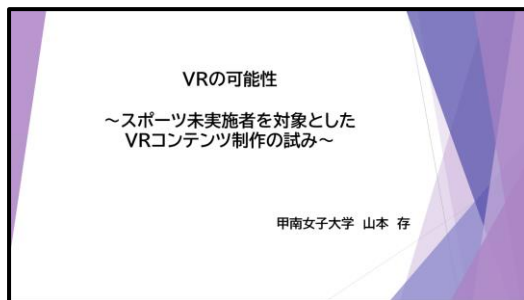


### 【発表者】

南條 正人 氏(仙台大学)

[PDF ファイル](#)

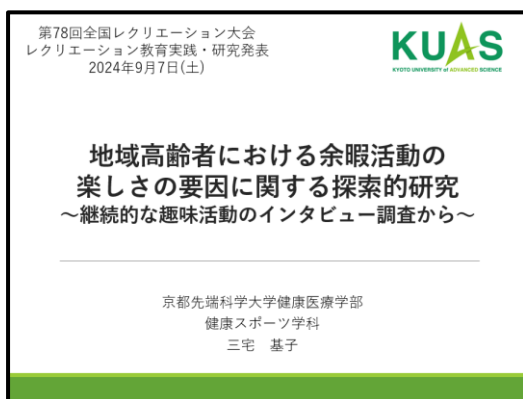
## VRの可能性 ～スポーツ未実施者を対象としたVRコンテンツ制作の試み～



【発表者】  
山本 存 氏(甲南女子大学)

[PDF ファイル](#)

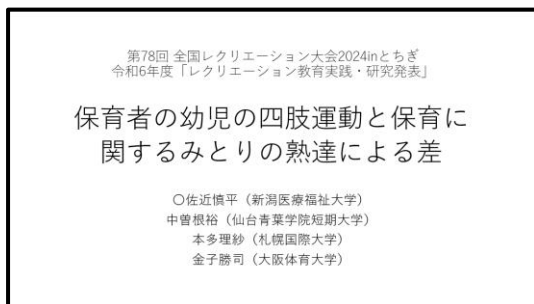
## 地域高齢者における余暇活動の楽しさの要因に関する探索的研究 ～継続的な趣味活動のインタビュー調査から～



【発表者】  
三宅 基子 氏(京都先端科学大学)

[PDF ファイル](#)

## 保育者の幼児の四肢運動と保育に関するみとりの熟達による差



【発表者】  
佐近 慎平 氏(新潟医療福祉大学)

[PDF ファイル](#)

## 共同的な音楽活動を想定したピアノ演奏変化



【発表者】

小林 梨紗 氏（聖徳大学）

[PDF ファイル](#)

# 第78回 全国レクリエーション大会 2024 とちぎ 「セッション5」「セッション6」の報告より

---

## 【セッション5】

レクリエーション教育実践・研究発表

## 【コーディネーター】

築山 泰典 氏（課程認定校研究連絡会議監事／福岡大学）

【進行】 沖 雅美 氏（課程認定校研究連絡会議 関東・甲信越ブロック会議／東京福祉保育専門学校）

永富 達也 氏（課程認定校研究連絡会議 九州・沖縄ブロック幹事／九州龍谷短期大学）

## 【発表者】

大橋 信行 氏（帝京大学）、古田 康生 氏（岐阜協立大学）、中井 聖 氏（大阪電子通信大学）、霜触 智紀 氏（宇都宮共和大学）、本多 理紗 氏（札幌国際大学）、小野 隆 氏（名古屋柳城女子大学）、仁藤 喜久子 氏（仙台白百合女子大学）、森田 清美 氏（東北文化学園大学）、南條 正人 氏（仙台大学）、山本 存 氏（甲南女子大学）、三宅 基子 氏（京都先端科学大学）、佐近 慎平 氏（新潟医療福祉大学）、小林 梨紗 氏（聖徳大学）

※古田先生の発表は共同研究者の日比千穂氏（大垣女子短期大学）が発表されました。

## 【会場】

ライトキューブ宇都宮 201

## 【参加者】

51 名

## 【ねらい】

令和5年度課程認定校研究連絡会議研究助成を受託した研究の発表を行い、レクリエーションにおける新たな教育実践と最新の研究知見を参加者に提供することにより、レクリエーション分野のさらなる活性化を図ることをねらいとする。

## 【内容】

本セッションは、一人10分間と限られた時間の中で7分間の発表と3分間の質疑応答を行うという形式で進められた。13名中1名の発表者がやむを得ず事前に収録した動画を用いて発表を行ったが、それ以外の12名の発表は対面方式で実施した。一つひとつの発表についてその内容を記載するのは書面の関係もあり難しいが、幼児から大学生、高齢者まで幅広い年齢層を研究の対象としていた。

特に、印象に残った点として、まず、レクリエーションにおける ICT 活用に関する研究がある。コロナ禍を経て、生活のさまざまな場面で ICT 技術に触れる機会が増えたが、これをレクリエーションに取り入れた研究があり、幼少期から当たり前のように携帯端末でゲームに親しんできた課程認定校の学生が VR やエアータッチセンターを用いて授業に取り組む姿が目につく。

また、「運動（運動遊び）」や「体育」「スポーツ」に関連する研究が多く見られる中、音楽分野のピアノ演奏に関する研究では、ピアノ演奏において具体的な場面を設定すると同じ楽曲でも学生・保育者・音楽療法士の三者ではその演奏が大きく異なることを実感でき、興味深い内容であった。

### 【参加者の反応】

本セッションにおけるアンケートには「多種多様な研究発表があり良かった」、「自分自身が研究をしていくうえで参考となる発表を聞くことができ、今後の研究活動に活かしていきたいと思う」といった感想が寄せられ、セッションの評価についても「大満足」や「満足」といった回答が多数を占めていた。

しかしながら、昨年度より発表数が増えたこともあり、一つひとつの発表に十分時間をかけることができず、特に質疑応答の時間が短くなってしまった。そこで、「今後は分野別で（分科会を）行う必要性を感じた」、「教育実践の交流、意見交換の機会があればありがたい」といった貴重な意見も頂いた。

また、アンケートには「これだけレクリエーションについて研究されている先生方がいらっしゃるのに、なぜその価値が上がらないのか。」といった現状に対する危機感も寄せられていた。課程認定校の教員として、より一層の教育内容の充実に「また明日からがんばろう」と決意を新たにできる良い機会となった。



報告：課程認定校研究連絡会議 関東・甲信越ブロック幹事  
東京福祉保育専門学校 沖 雅美

## 【セッション 6】

レク教育・研究サポートデスク

## 【ファシリテーター】

佐近 慎平 氏（課程認定校研究連絡会議特任幹事／新潟医療福祉大学）

## 【講師】

岡山 千賀子 氏（課程認定校研究連絡会議幹事長／徳島文理大学）

仲野 隆士 氏（課程認定校研究連絡会議顧問／仙台大学）

中井 聖 氏（課程認定校研究連絡会議近畿ブロック幹事／大阪電気通信大学）

## 【会場】

ライトキューブ宇都宮 201

## 【参加者】

21 名

## 【ねらい】

レクリエーション教育を担当する初任者の教員をサポートするためのワークショップ。テーマは「教育」「研究」「地域活動」の3点。経験豊富な教員たちからの知見を惜しみなく提供する場にするため、あらかじめ初任者の教員から3つの領域についての質問を募り、講師がその質問に答えるという方式を取り入れた。

## 【内容】

まず1点目の「レクリエーション教育」では、「大切にしている考えや手法について」の質問に対して、「楽しさを追求できるレク教育」「対象によって指示のやり方を変えていくこと」などが、実技では、「さじ加減を工夫すること」「対象者が成功体験を早く持たせるための工夫」などが挙げられた。また、テキストに書かれている理論を、より具体的にかみ砕いて伝えるように工夫していることや、レク教育は、教えているうちに面白くなってくるといったお話が語られた。

2点目の「研究」では、「レクの研究と元々の自分の研究をどのように結び付けているのか」という問いに対して、一人ひとりのバックグラウンドとレクをどのように結びつけるかを考えていくと、それが研究になっていくとのお話があった。リンクさせていくことができるのが、レクの研究であり、領域も広いので、このような場でいろいろな人と繋がって、ネットワークをつくり、エビデンスをもって研究を展開していったほしい、という言葉をいただいた。

3つめの「地域活動」では、授業にからめて学外のイベントに学生を連れていき参加させると、学生の学びが深まっていく、といった効果が話された。またそのための資金をどう捻出するか工夫についても先生方の経験からレクチャーがあった。

最後に講師の先生からは、『レクリエーションマインド』は大切にしたい」「時代の変化の中でやってきたことを残していくことが、あとの時代の人に繋がっていく」「時代とともに変化していくことは、多々あり、子どもも学生も、多様化してきているが、学生と

私たちのコミュニケーションは、変化させてはいけない」といった思いが伝えられ、本セッションをまとめてくださった。

#### 【参加者の反応】

20代から60代まで、参加者の年齢は様々で、主な活動領域も幼児・成人・高齢者・障害児と様々であった。自由記述で、教育・研究・地域活動それぞれについて、経験豊富な先生方のお話が聞けて良かった。レクリエーションの授業で、旧版のテキストの活用と他領域（自分の専門領域）の活用について、参考になるお話が聞けた。レクリエーション教育を進めるうえでの指標を学ぶことができた、などの声をいただいた。アンケートでもほとんどの参加者が、大満足・満足以○をしていたように、このセッションのねらいは、参加者にとって大きな刺激になったようである。



報告：課程認定校研究連絡会議 近畿ブロック幹事  
兵庫大学 原 志津